

「コミュニティバスすまいる」利用者アンケート結果

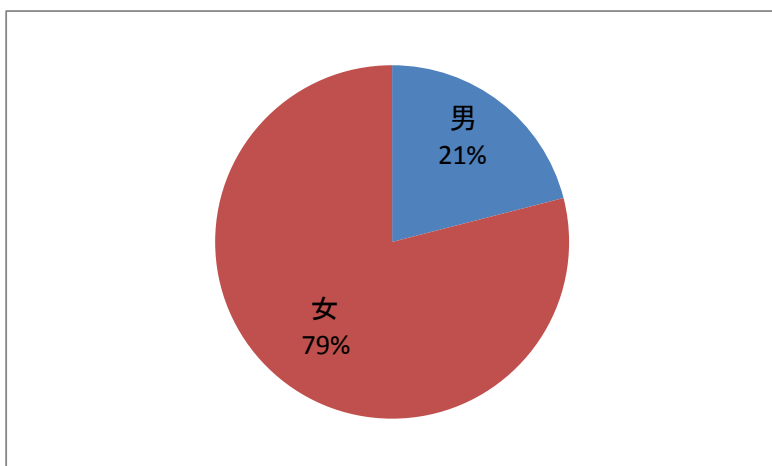
調査の概要

- 1、調査目的 すまいるバスの利用について乗客の意識アンケートを行い、今後のサービスや利用促進に役立てる。
- 2、調査期間 平成 25 年 2 月 12 日(火)・13 日(水)
- 3、調査対象 すまいるバス乗客
- 4、調査方法 乗客へのヒアリング調査
- 5、調査場所 駅前商店街停留所前、すまいるバス車内
- 6、回 答 400 人 (4 ルート 50 人ずつ)

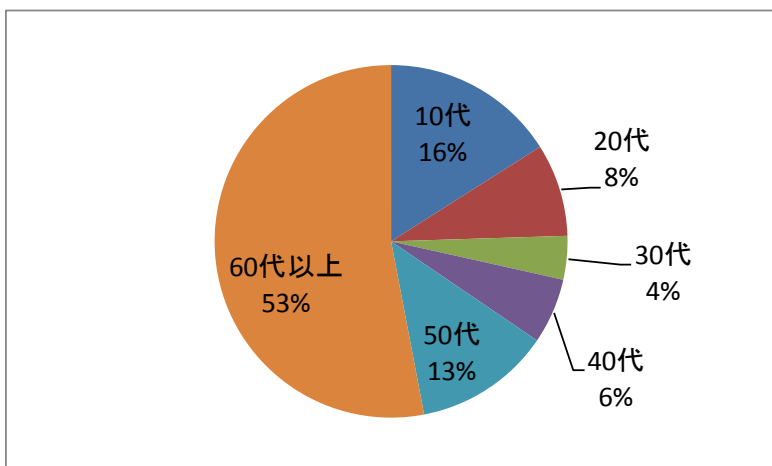
調査結果

1. 回答者の属性

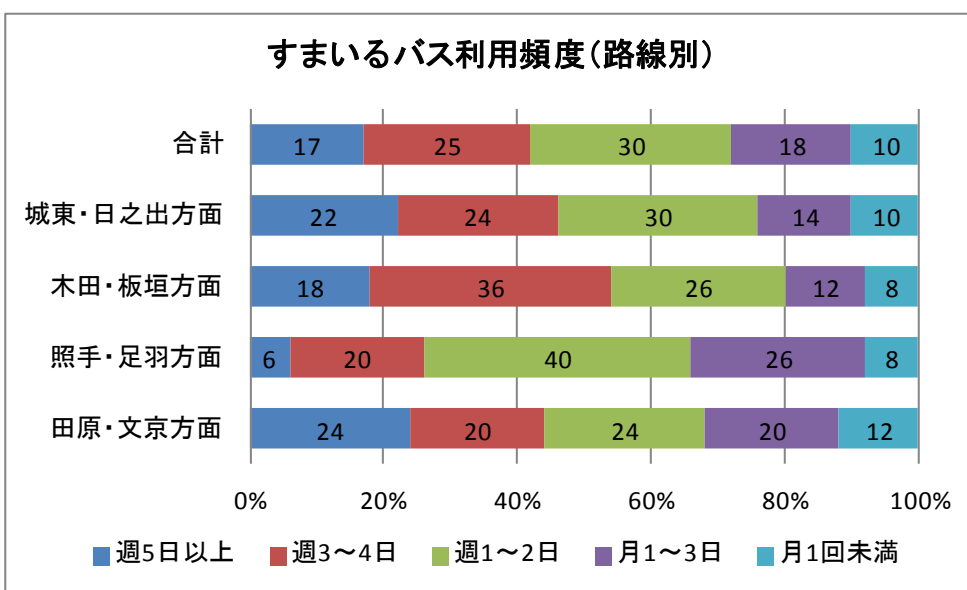
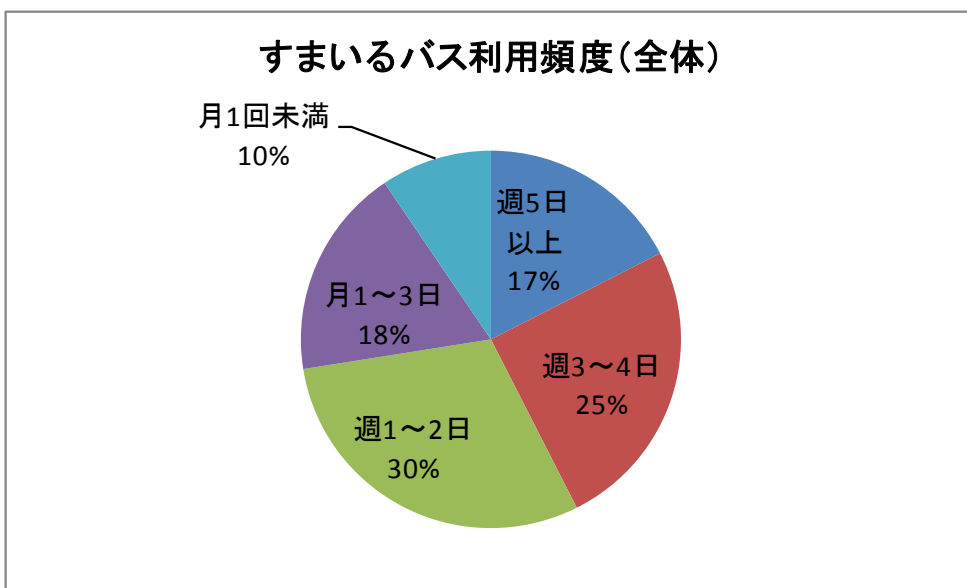
(1) 性別



(2) 年代



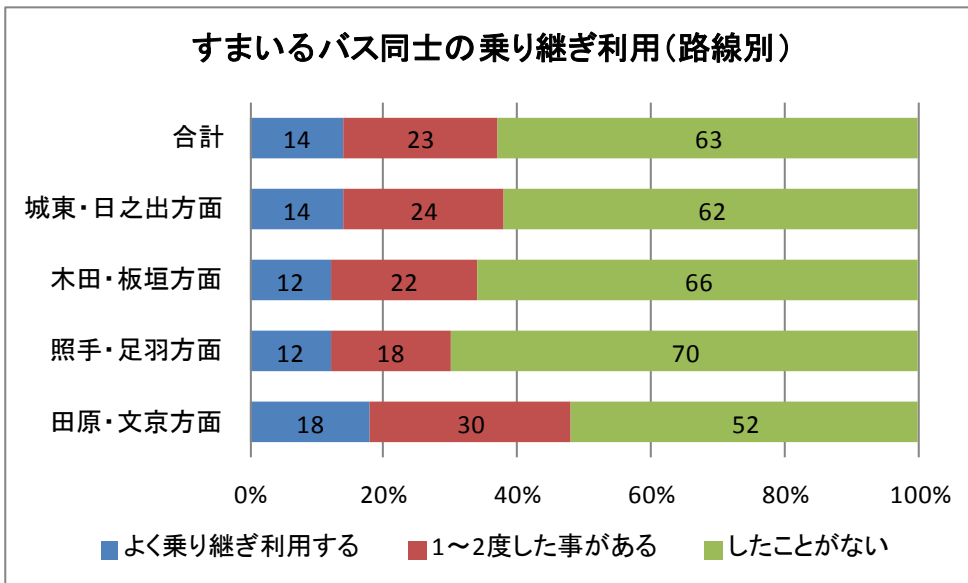
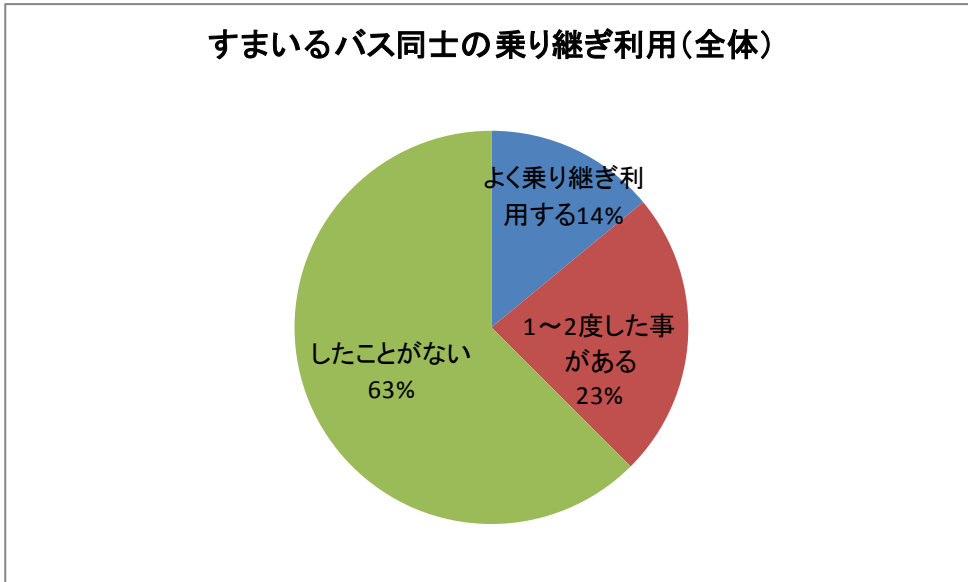
2. すまいるバスの利用頻度



すまいるバスの利用頻度について、全体では「週1~2日」の利用が一番多く、次いで「週3~4日」、「週5日以上」の順で、週1日以上利用される方が7割以上となった。「月1回未満」での利用は約1割と少なかった。

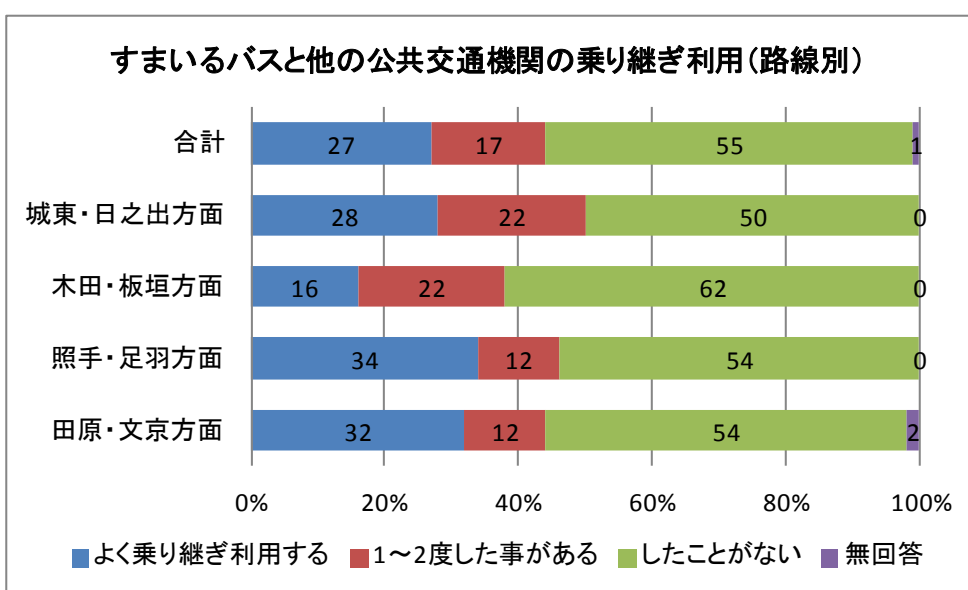
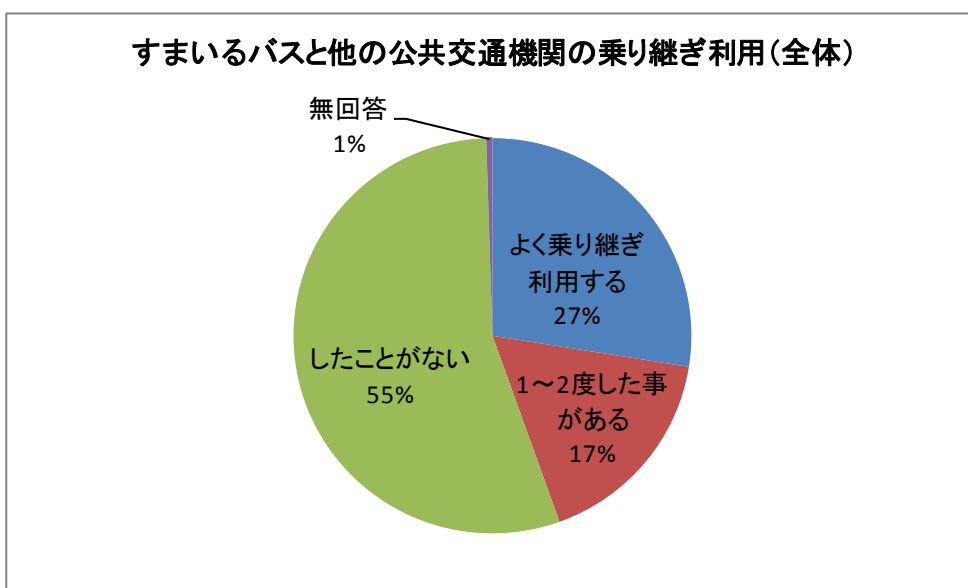
3. すまいるバスの乗り継ぎ

(1) すまいるバス同士の乗り継ぎ利用



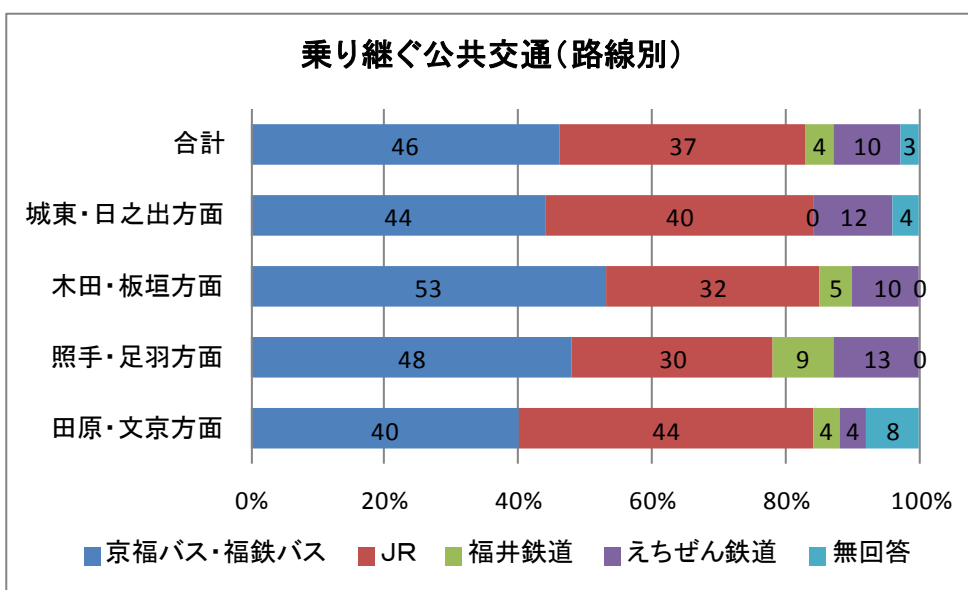
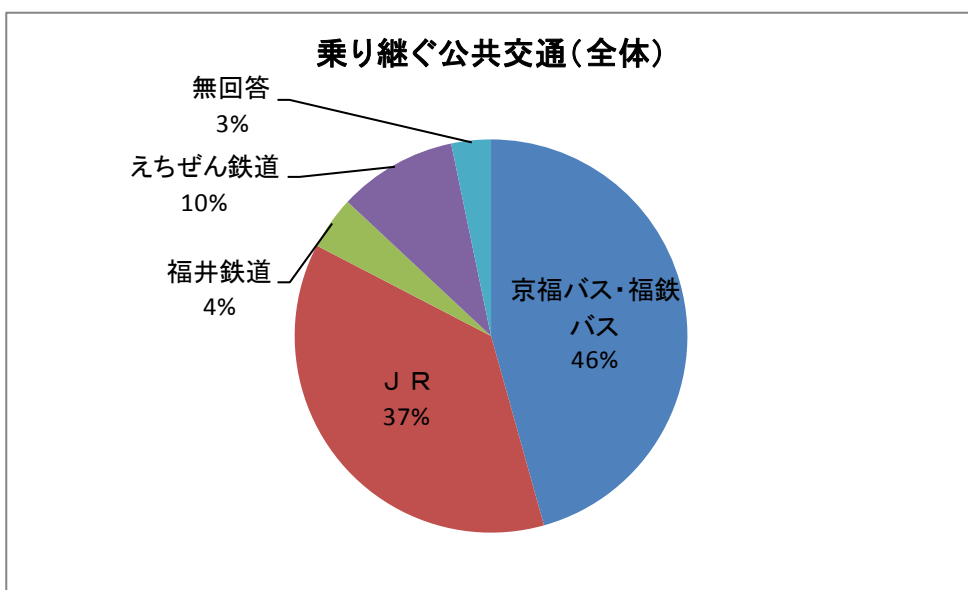
すまいるバス同士の乗り継ぎについては、全体の6割以上が乗り継ぎ利用をしたことがなく、照手・足羽方面の利用者は7割以上だった。

(2) すまいるバスと他の公共交通機関の乗り継ぎ利用



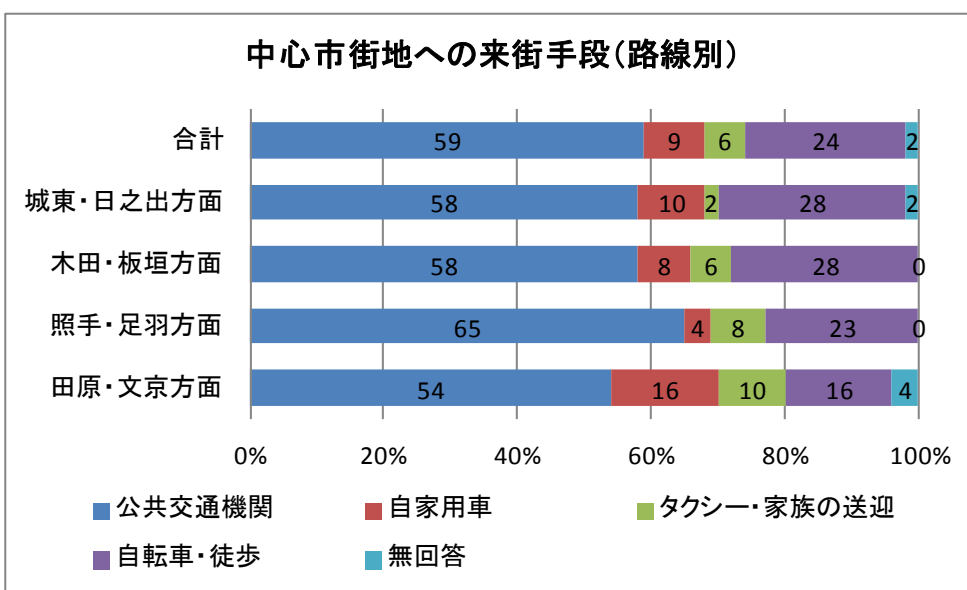
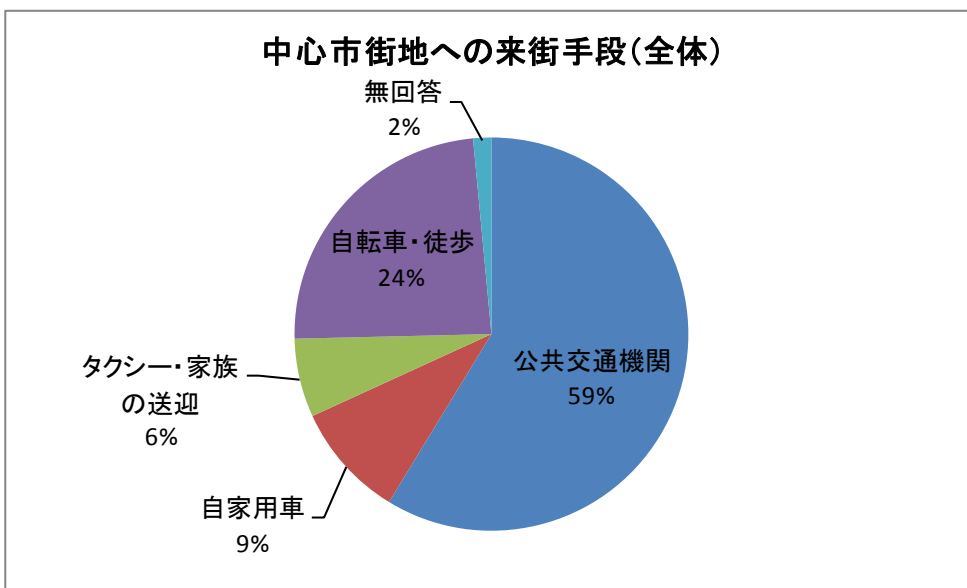
すまいるバスと他の公共交通機関の乗り継ぎ利用については、全体の半数以上が乗り継ぎ利用をしたことがない回答が占めた。

(3) 乗り継ぐ公共交通



他の公共交通機関との乗り継ぎ利用をしたことがあると回答された方に、利用した交通機関を尋ねたところ、「京福バス・福鉄バス」が46%、「JR」が37%となった。

4. 中心市街地への来街手段

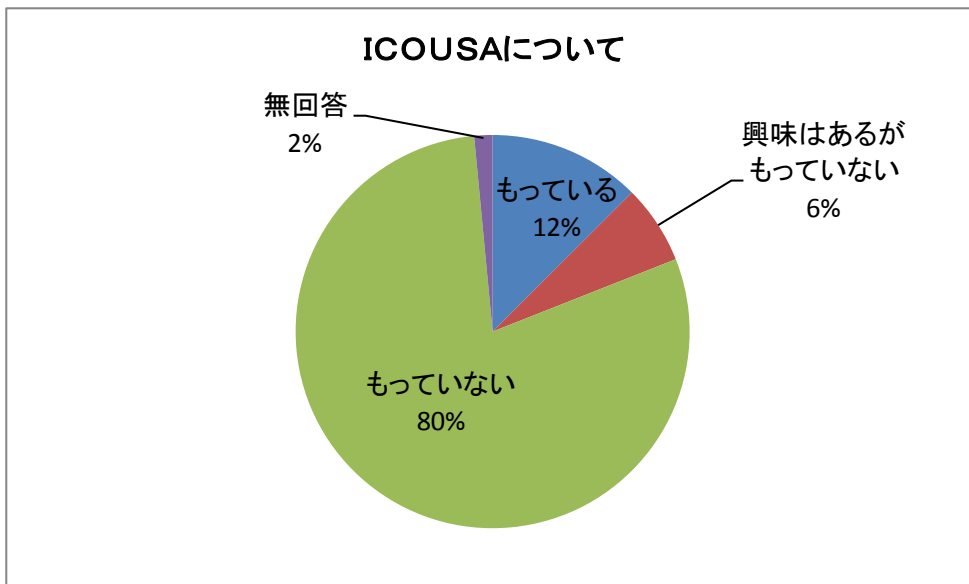


中心市街地への来街手段については、公共交通機関の利用が約6割を占めた。

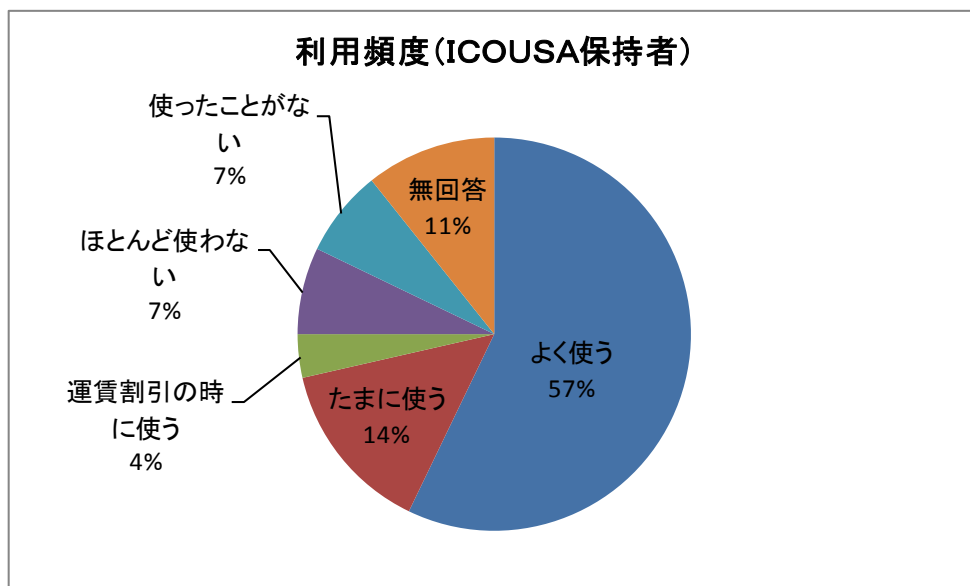
次いで、自転車・徒歩の利用が約2割で、自家用車利用での来街は全体の約1割と少なかった。

5. ICOUSAについて

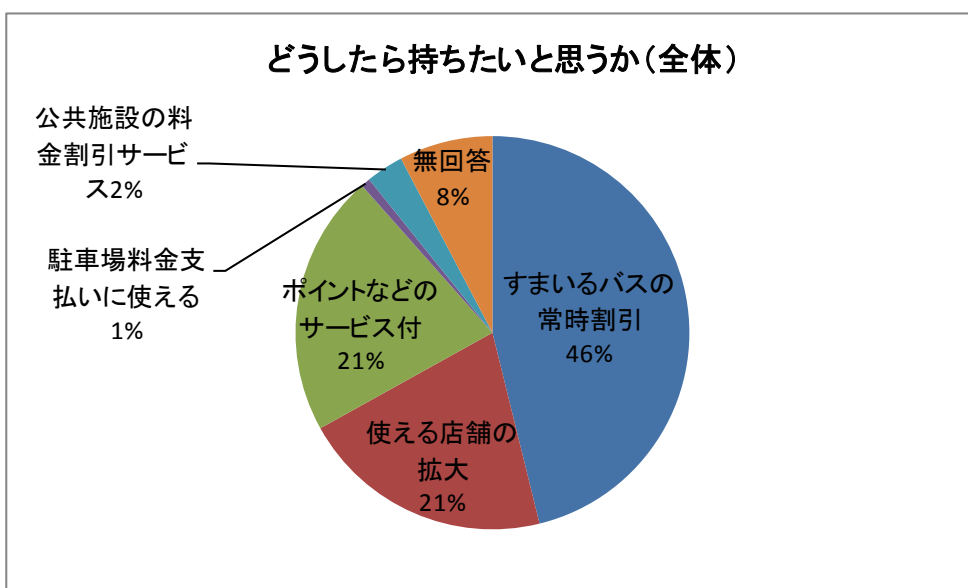
(1) 所有について



(2) 利用頻度



(3-1) 【持っていない方へ】 どうしたら持ちたいと思うか

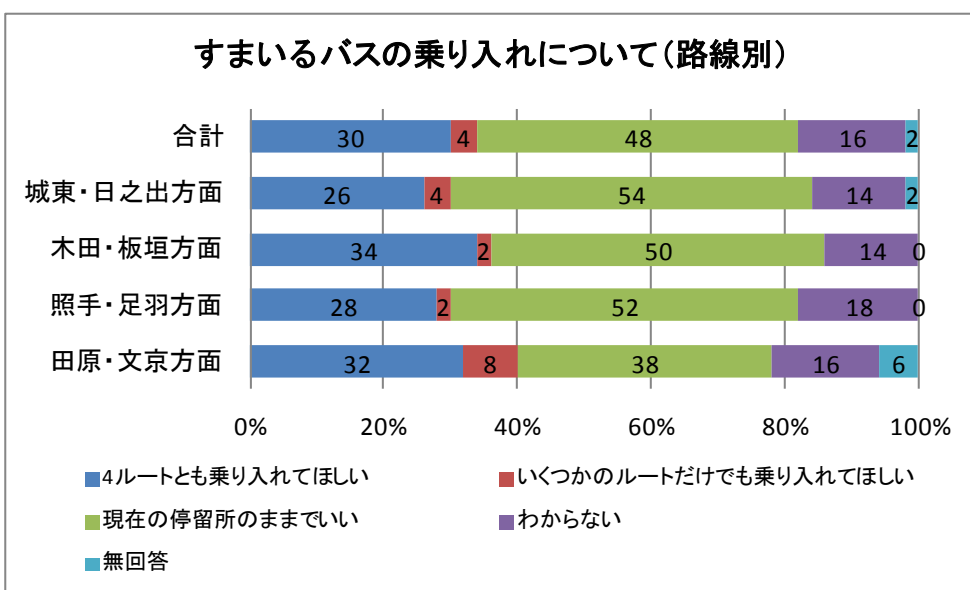
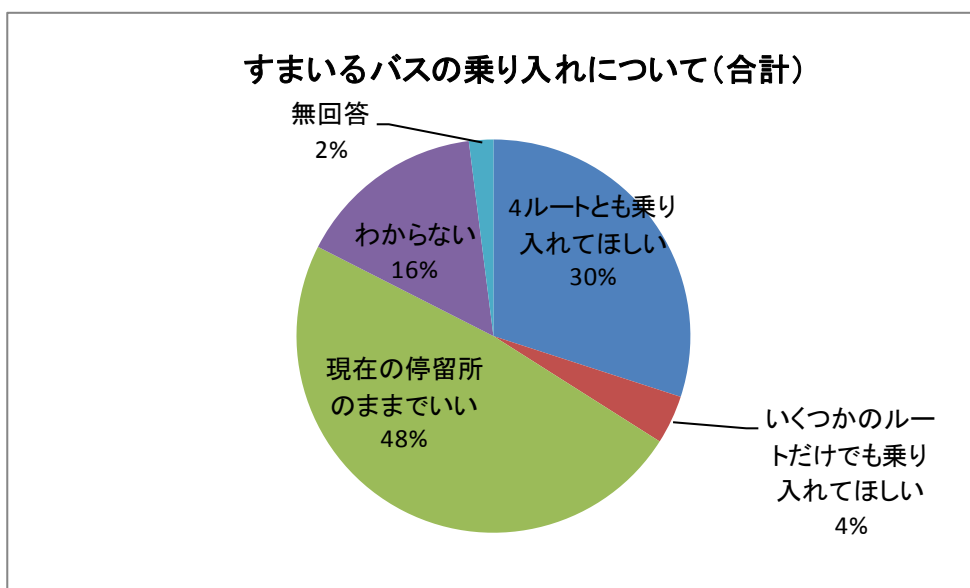


(3-2) その他の意見

- ・ 使い方（仕組み）がわからない。
- ・ すまいるバスをあまり（毎日）使わない。
- ・ 興味がない。
- ・ SUICAと共通にする。
- ・ Edy が使える様になると良い。
- ・（ICOUSAについて）知らなかった。
- ・ 名前を変える。
- ・ 使い勝手をよくする。
- ・ 以前は持っていたが面倒だった。
- ・ カードは持たない。不便。
- ・ 70 歳以上は無料にして欲しい。

ICOUSA については、すまいるバス利用者の約 1 割が所持しており、所持者のうち約 6 割が頻繁に利用している。ICOUSA を所持していない方の意見として、運賃常時割引のサービスを望む声が多く、次いで使える店舗の拡大・ポイントサービスの付与を望む声が多かった。

6. JR福井駅の西口広場整備後のすまいるバスの乗り入れについて



JR福井駅の西口広場整備後のすまいるバスの乗り入れについて、各4ルートともに現在の停留所のままと望む声が多く、全体の5割近くを占めた。4ルートとも乗り入れを望む方は約3割であった。